



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社
コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利
問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	23,496	44.4	349	—	320	—	105	—
28年3月期第2四半期	16,277	118.9	△148	—	△176	—	△278	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 313百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △188百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	0.36	—
28年3月期第2四半期	△0.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円銭	
29年3月期第2四半期	7,784		6,905		87.0		23.38	
28年3月期	7,645		6,677		87.2		23.02	

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 6,773百万円 28年3月期 6,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	
通期	47,700	63.4	470	—	410	—	110	—	0.38	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	289,747,982 株	28年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	95,347 株	28年3月期	95,282 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	289,652,689 株	28年3月期2Q	289,653,018 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境は改善傾向にあるものの、円高の進行、新興国の景気減退及び英国のEU離脱問題等の影響により、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・プラチナ価格は、米国の利上げ観測及び為替相場等の影響を背景に総じて不安定な相場で推移いたしました。宝飾市況においては、ダイヤモンド価格の下落及び個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境の下推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税や低金利の継続等、住宅購買意欲は回復基調で推移しているものの、都市部では物件の取得競争が激化する等、依然厳しい環境の下推移いたしました。中古住宅市場においては、政府の活性化策等の取り組みにより市場の拡大がみられる等、堅調に推移いたしました。機械事業においては、北米での需要の一段感や中国経済の減速、原油安や円高等の影響もあり、中古工作機械業界においても厳しい環境の下推移いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は23,496,738千円(前年同四半期16,277,641千円)、営業損益は349,461千円の利益(前年同四半期148,440千円の損失)、経常損益は320,072千円の利益(前年同四半期176,358千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は105,362千円の利益(前年同四半期278,911千円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は21,068,036千円(前年同四半期14,260,426千円)、営業損益は66,897千円の利益(前年同四半期29,370千円の損失)となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は759,293千円(前年同四半期937,461千円)、営業損益は46,515千円の損失(前年同四半期9,917千円の損失)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は710,484千円(前年同四半期151,333千円)、営業損益は161,420千円の利益(前年同四半期8,476千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は491,521千円(前年同四半期745,401千円)、営業損益は52,132千円の損失(前年同四半期73,376千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は410,546千円の利益(前年同四半期158,555千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より138,731千円増加し、当第2四半期末は、7,784,492千円となりました。

増加の主なものは、現金及び預金の増加(902,973千円から1,095,094千円へ192,120千円の増加)、デリバティブ債権の増加(249,000千円の増加)及び預け金の増加(1,577,175千円から1,857,340千円へ280,165千円の増加)であります。

減少の主なものは、販売用不動産の減少(197,601千円から66,654千円へ130,947千円の減少)及び仕掛不動産の減少(329,518千円の減少)であります。

当第2四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より88,685千円減少し、当第2四半期末は、879,311千円となりました。

減少の主なものは、長期借入金の減少(388,980千円から319,140千円へ69,840千円の減少)であります。

当第2四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より227,416千円増加し、当第2四半期末は、6,905,180千円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金の増加(△6,083,094千円から555,406千円へ6,638,500千円の増加)であります。

減少の主なものは、資本金の減少(12,782,064千円から6,248,926千円へ6,533,138千円)であります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より192,120千円増加し、1,095,094千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は354,054千円(前年同四半期は127,575千円の使用)となりました。これは主にデリバティブ債権の増加額249,000千円及び預け金の増加額280,165千円等の資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益320,276千円及びたな卸資産の減少額587,988千円等の資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,370千円(前年同四半期は28,951千円の獲得)となりました。これは主に敷金及び保証金の増加による支出4,244千円及び有形固定資産の取得による支出3,631千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は155,563千円(前年同四半期は153,314千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出69,840千円及び非支配株主への分配による支出85,721千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成28年11月10日)公表いたしました「平成29年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	902,973	1,095,094
売掛金	17,970	52,738
商品及び製品	1,061,761	968,319
仕掛品	258,422	232,758
原材料及び貯蔵品	11,732	3,315
販売用不動産	197,601	66,654
仕掛不動産	329,518	—
デリバティブ債権	—	249,000
預け金	1,577,175	1,857,340
その他	35,170	44,455
流動資産合計	4,392,328	4,569,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,394,038	1,394,038
減価償却累計額	△569,057	△600,410
建物及び構築物 (純額)	824,981	793,628
機械装置及び運搬具	520,298	516,240
減価償却累計額	△422,922	△427,384
機械装置及び運搬具 (純額)	97,375	88,855
土地	1,691,391	1,691,391
その他	112,385	112,385
減価償却累計額	△101,726	△102,288
その他 (純額)	10,658	10,096
有形固定資産合計	2,624,407	2,583,971
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	7,715	7,012
無形固定資産合計	372,715	372,012
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	136,255	138,749
その他	8,903	8,928
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	256,310	258,830
固定資産合計	3,253,432	3,214,814
資産合計	7,645,761	7,784,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,390	15,927
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	139,680	139,680
未払金	35,518	27,899
未払法人税等	35,617	22,614
デリバティブ債務	—	25
その他	43,260	51,141
流動負債合計	322,466	307,288
固定負債		
長期借入金	388,980	319,140
長期未払金	19,594	15,963
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	22,907	22,135
繰延税金負債	20,425	19,011
資産除去債務	189,670	191,819
固定負債合計	645,530	572,022
負債合計	967,997	879,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	6,248,926
利益剰余金	△6,083,094	555,406
自己株式	△31,153	△31,155
株主資本合計	6,667,816	6,773,177
非支配株主持分	9,947	132,003
純資産合計	6,677,763	6,905,180
負債純資産合計	7,645,761	7,784,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	16,277,641	23,496,738
売上原価	15,719,167	22,483,135
売上総利益	558,474	1,013,603
販売費及び一般管理費	706,914	664,141
営業利益又は営業損失(△)	△148,440	349,461
営業外収益		
受取利息	76	12
国庫補助金収入	10,575	10,283
保険金収入	8,053	985
その他	1,296	7,026
営業外収益合計	20,002	18,308
営業外費用		
支払利息	5,141	4,358
休山管理費	37,498	40,266
その他	5,280	3,073
営業外費用合計	47,920	47,697
経常利益又は経常損失(△)	△176,358	320,072
特別利益		
固定資産売却益	148	259
特別利益合計	148	259
特別損失		
固定資産売却損	519	—
投資有価証券売却損	12,066	—
固定資産除却損	0	55
特別損失合計	12,585	55
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△188,795	320,276
法人税、住民税及び事業税	8,549	8,549
法人税等調整額	△1,870	△1,413
法人税等合計	6,678	7,135
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△195,474	313,140
非支配株主に帰属する四半期純利益	83,437	207,777
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△278,911	105,362

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△195,474	313,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,928	—
その他の包括利益合計	6,928	—
四半期包括利益	△188,546	313,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△271,983	105,362
非支配株主に係る四半期包括利益	83,437	207,777

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失 (△)	△188,795	320,276
減価償却費	47,211	41,082
受取利息及び受取配当金	△76	△13
支払利息	5,141	4,358
補助金収入	△10,575	△10,283
保険金収入	△8,053	△985
有形固定資産売却損益 (△は益)	371	△259
有形固定資産除却損	0	55
投資有価証券売却損益 (△は益)	12,066	—
売上債権の増減額 (△は増加)	21,123	△34,768
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△161,561	587,988
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,336	△2,462
未払金の増減額 (△は減少)	△10,825	△7,618
デリバティブ債権の増減額 (△は増加)	—	△249,000
デリバティブ債務の増減額 (△は減少)	—	25
預け金の増減額 (△は増加)	182,567	△280,165
その他	△19,774	△4,001
小計	△118,846	364,229
利息及び配当金の受取額	94	13
利息の支払額	△5,141	△4,358
補助金の受取額	10,575	10,283
保険金の受取額	8,053	985
法人税等の支払額	△22,311	△17,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	△127,575	354,054
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,716	△3,631
有形固定資産の売却による収入	277	280
敷金及び保証金の差入による支出	△880	△4,244
敷金及び保証金の回収による収入	4,035	1,249
投資有価証券の売却による収入	35,234	—
その他	—	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,951	△6,370
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△69,840	△69,840
自己株式の取得による支出	△34	△1
非支配株主への分配による支出	△83,440	△85,721
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,314	△155,563
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△251,939	192,120
現金及び現金同等物の期首残高	1,176,815	902,973
現金及び現金同等物の四半期末残高	924,876	1,095,094

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成28年6月29日開催の定時株主総会決議により、平成28年8月12日付で資本金を減少させ、その他資本剰余金に振替えた後、同日付でその他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。この結果、資本金が6,533,138千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が6,248,926千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	14,260,426	937,461	143,318	745,401	172,906	18,127	16,277,641
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	8,015	—	—	—	8,015
計	14,260,426	937,461	151,333	745,401	172,906	18,127	16,285,656
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△29,370	△9,917	△8,476	△73,376	158,555	831	38,245

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	16,277,641
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	△8,015	—
計	△8,015	16,277,641
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△186,686	△148,440

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△186,686千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,686千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	21,068,036	759,293	702,469	491,521	424,811	50,606	23,496,738
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	8,015	—	—	—	8,015
計	21,068,036	759,293	710,484	491,521	424,811	50,606	23,504,753
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	66,897	△46,515	161,420	△52,132	410,546	△3,001	537,215

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	23,496,738
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	△8,015	—
計	△8,015	23,496,738
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△187,753	349,461

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,753千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△187,753千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。